

科目名	感情・人格心理学			ナンバリング	PSY432	授業形態	講義
対象学年	2年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	大島典子	担当教員	○大島典子				

授業の概要	感情や人格はすべての人が有していて、しかし各々異なるいわば「その人らしさ」である。自分にも他者にもあり、日常的に関わっている「感情」と「人格」について、心理学的にその成り立ち、測定法、メカニズム、社会適応と人格のマッチングという観点から学び、理解を深めていくことを目標とする。
到達目標	1)感情・人格心理学の代表的な理論について説明することができる 2)人格の査定などから、自己の「人格」をその理論より理解することができる 3)人格のあり方と社会の適応について、その現象を理解し説明することができる
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	配付プリントを整理し、復習に役立てること
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】
	○ 1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。
	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。
	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。
	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。
	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1)感情・人格心理学の代表的な理論について名称を言うことができる 2)人格の査定などから、自己の「人格」をその理論より理解することができる 3)人格のあり方と社会の適応について、その現象を理解することができる 4)講義内で扱った用語を覚えて、試験の際に7割再生することができる	1)感情・人格心理学の代表的な理論について説明することができる 2)人格の査定などから、自己の「人格」をその理論より説明することができる 3)人格のあり方と社会の適応について、その現象を理解し説明することができる 4)講義内で扱った用語を覚えて、小テストの際に9割再生することができる

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○	○	○	○		80%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加	○	○	○	○	○		20%

課題、評価のフィードバック	レポートは翌週コメントとともに返却する
---------------	---------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	感情・人格心理学について	感情・人格心理学の扱う「感情」と「人格」について学ぶ。	
	第2回	感情に関する理論と感情が喚起される機序	感情の末梢説及び中枢説をはじめとする感情に関する理論を学ぶ。	
	第3回	感情が行動に及ぼす影響①	感情の機能と感情が行動に及ぼす影響を学ぶ。	
	第4回	感情が行動に及ぼす影響②	感情制御、感情の個人差などの理論について学ぶ。	
	第5回	小テスト(第1回～第4回までの内容について) 人格の概念と形成過程 フロイトの理論①	フロイトの人格概念について学ぶ。	
	第6回	人格の概念と形成過程 フロイトの理論②	フロイトの人格概念について学ぶ。	
	第7回	人格の概念と形成過程 ユングの理論	ユングの人格概念について学ぶ。	
	第8回	人格の概念と形成過程 ロジャーズの理論	ロジャーズの人格概念について学ぶ。	
	第9回	人格の概念と形成過程 行動主義の考え方	行動主義の人格論について学ぶ。	
	第10回	小テスト(第5回～第9回までの内容について) 人格の類型と特性①	人格心理学における類型論及び特性論について学ぶ。	
	第11回	人格の類型と特性②	人格心理学における類型論及び特性論について学ぶ。	
	第12回	人格を査定する方法①	人格査定の方法について学ぶ。	
	第13回	人格を査定する方法②	人格査定の方法について学ぶ。	
	第14回	パーソナリティ障害	パーソナリティの障害について理解する。	
	第15回	小テスト(第10回～第14回までの内容について)		
		試験	定期試験は実施しない	
授業の進め方	基本的に講義と課題レポートですすめる。3回の確認小テストを実施する。			
授業外学習の指示	配布資料を中心に講義の内容を復習する。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)			

教科書	使用しない。プリントを配付する。
参考書	使用しない。
参考URLなど	
その他	